

米棉の豊作

無採算的な
擴張を排す

去八日アメリカ農務省發表によれば、九月一日調査に係る今季米穀第二回收穫豫想高は一千六十九萬八千桶で八月三十日前の調査より増加といふ。これは付付反対の増大によるものと云はれるが、この増産發表は直ちに經育取引市場に現れ早くも封渡當り十仙を割らうとする形勢に在るといふ。

吾人はすでに幾回となく来場に對する同胞稻作家の省廳を促して來たが、米穀收穫豫想が漸く變化每に増大する事によつても來季米穀に相當影響せしにはあからず、米穀半仙は略その生産費に相當するもので農業保護の立場から米政府當局としてこの徵收は極めて來季米穀に於ては相当の距離あるが、實に米穀半仙は略その生産費に相當するので、たゞ市價が米穀のそれに配慮して下落するとも生産費を割るまでにはなほ相違する管なるが、これを米穀半仙は略その生産費に相当するものと云はれるが、これは到底近況に熱に浮かされても付付精の擴張は出來ない筈である。

先頃の稻作代表會議で表されたように棉花會社の筋では、來季收穫の相場は實に半仙アーヴ二十仙十四ミル見當と見てゐる。これは玄人の觀測である不測の事情突發せざるかぎり十分尊重されるべきものと思惟せばならぬが、これを記載する最近の數年間で各國とも較すれば三割方の開きがある。この上質銀高日用必需品の購買による生産費高嵩の差を加筆ではない。

棉花の世界的生産に於ける高騰その他の考慮に入るれば到底近況に熱に浮かされても付付精の擴張は出來ない筈である。

ブラジル經濟使節の 日本訪問印象記

〔8〕妹尾正男要譯

鎌倉を経

横濱

宮ノ下へ

到着

歴史

大佛

眞心

万歳

シチオ

急募

植字

日伯社

レコード

眞種

みかん苗木

賣住宅地

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

時

もたま船商
上値賃運

これ以上の赤字は
まつびら御免だ

来年一月から現運賃の一割引上げ

日伯兩國間の通商貿易は、彼の經濟便益交換以來急進的緊密の度を加へる著なる躍進を示しつゝあるが、この兩國を繋ぐ大阪商船では、實に南米東海岸向邦船と通商貿易を主たる目的とする對日輸出棉品、通商貿易上に大きな影響を及ぼすものであるとまで騒がれていた。また年一月より運賃の二割見當の引上げを發表するに至つた。

され
共存共榮 の見地
より運賃
貨物の負担力弱きもの即ち、陶器、
玩具等は一割五歩以内、自転車、
マルチ器は二割程度の引上に止
め従價通り運賃はそのまゝ据
置とされてゐる。右の運賃表
上につきラジカル大阪商船会
社では左の如く發表してゐる。

げふ相見える兩軍
決戦の意氣を聴く

自信はある

「ヨロニヤ軍藤平監督」

槍砲圓三棒走	走	千五百	千五百	四百	ト ラ ツ ク
丸盤段高幅	高	六百	五百	百	
投投跳跳跳	跳	百リレ	米	米	
57 12 36 13 3 6	フ ィ ル	1 3 45 16	4 52 11	秒	ムニテ
米米米米米米	ド	分 分 分	秒 秒 秒	8 3	バロス
88 41 59 27 50 81		81 83 8	42 26 8	秒	ミリ秒
牧散カ坂石イ ンボ		6	2 2		ミクニス
野野ス井田ル					ムニテ
一九三五年					一九三五年
一九三六年					一九三四年
一九三七年					一九三六年
一九三八年					一九三六年
一九三九年					一九三六年
一九四〇年					一九三六年

赤心築塔字金
四年生四名
日支時局の動向と共に在留同胞の祝賀は北支那に南支に注がれてたぎりたつ國心は軍用機等の寄付金等つて現はれてゐる一方、各小学校生徒よりは純情あらま感激又感謝の手紙が送らるるがソロカバナ線バルトー牌クルス・ブレータ小学校生徒十九名(四年生三名)

タイヘン タシハコマリマス

アプローチを施設する所へ、善處方を申請してゐる。金の回収達みに手加減する様様である。

右につき事務所側では、この土地は一九二六年の「厳重抗議」した所で、現在もそのままである。また事實或るに、サンライスは、地に跨るばかりならぬ、

この問題に對する意見は、その多くが、この點を明確にするところに到達した。その一つの工作は、氣候關係で、みんなの腐り切つて、兵後氣候關係も順調にも、一般的の事情に精通成績を上げてゐる模様をナントと云ふ。他の他學生を代表して、マリオ・ミランダ君が文を朗讀した。

▲：槍の牧野といふモソツだが、その牧野間にも相當名を賣つて交渉に當らせて

調査したところ
六八家族の中荒木氏の
センソク病を患ひ耕の
には良い醫者がゐない
かへらから局論しん勝
植民地長と口論してゐる
出候は耕は其地
命に野菜作りは耕で
述べ、講師の古谷
教授が開
語講師の約
出席者
先づバン
た浅井大
田川利士
▲「昨
た浅井大
田川利士

時節柄ご用心
アルメイダ局長
突如聖市近郊を視察
去る六日午前八時半モチ、ダスクルーゼスのコツケラ日本語小学校で授業開始し、生徒一人々々に教科書を持つて來させて生徒は各筋の沿洋を拭き止を命じ、生徒一人々々に種々な質問を發する一方小学校の教育局長アルメイダ氏模様で全生徒と國々歌を合唱して再び車上の人となりモチ市方面に立去つた。この怪人物こそ誰があらう今日突然來られたのには詫まました、多分最近通りに立つたが、日本人の教育に就いて或る方面で云々してゐるものがあるのでその爲めに、日本人の教育が國に豫告なしに局長自身が訪問することは前例のないこととして各方面から注視さる規定上假令の二を採用せしむと/or>なつた。

右につき事務所側では、この土地は一九二七年に公認測量され、一九三〇年に公示されたもので訴訟の結果は當然我方の勝ちである。また事實或る区域は入り込んでゐるが、ヴィラサンリオスはフランチアの向かいから結局は有

（語調は、お手本を述べる）
「お手本を送る」
場をヤンナと云はせた、その学生を代表して四年生マリオ・ミランダ君が挨拶文を朗読した。
▲：船の牧野といへば外人間に相當名を賣つてゐるモツソだが、その牧野君をして交渉に當らせてゐるが（金百四十一ミル）に手紙を添へて、
（語調は、お手本を述べる）
「手紙を送る」
「全伯野球を機に球興の進軍ラップが奏でられてゐるが、歌舞舞台には出場しなかつたが古い歴史を持つモチーフも相当な影響を及ぼす。」
野球團では御大渡瀬さんも益々健在で最近故國より名前で待合せて出かけて行つたが、さて味は如何であつたか、流線子うつかり聽きもらした。
▲：また媚薬の話で恐れ入
（語調は、お手本を述べる）
「手紙を送る」
「たゞお安心あれ、本社では次期販売をしてゐます。」
▲：全伯野球大会の結果度審判クラブが生れた
（語調は、お手本を述べる）
「手紙を送る」
「度審判クラブが生れた」
▲：今夜七時から日本クルーズで陸聯の選手、役員慰問會が催される
（語調は、お手本を述べる）
「手紙を送る」
「手紙を送る」

▲「昨日日行はれ
た法律科大學の日本
語講座の開講式は
出席者約八十名、
先づバンパフレ法科
教授が開會の辭を
述べ、講師の古谷重綱氏は
述べ、講師の古谷重綱氏は
ボーツマンに似合すあれで
なか／＼商才がある大會に出席
いふのは昨年九月カナカオ
した際に安いネクタイを澤
山仕入れて歸郷し儲けたの
に味を占め、本年は靴下を
これまたしこたま仕入れて
ボーツマンに似合すあれで
さ怠りないが、その腕だめ
しにと来る九月カナカオ
軍と一戰を交へることとな
った
▲：ノロ絨から出発して來
た某名士二人、原商會發賣
の御贋ユガノールを手に入
る次第だが——ノロエマス
ではユガノール懸念とい
るものへ出発たどは大した
心さである
▲：このユガノール品略號
で愛用黨を失望させ得ぬ
が最近原商會へ大量入荷

大賣出し

二割・三割から四割へ

最終日も近づきました
早速御来店の程を

ドーフレアビムンフ!! 粋の歌行流

新語 十三
各 告 故

